

DragonFlyを使用する時の、ボリューム・レベルの設定方法を教えてください。

DragonFlyでヘッドフォン、パワード・スピーカー、またはパワー・アンプを使用する時は、低音量でから開始して、目的のボリューム・レベルまで上げてください。このような「可変出力モード」でDragonFlyを使用する時は、以下の手順を推奨します。

- iTunes®のような音楽再生アプリケーションのボリューム・コントロールを、最大に設定します。
- コンピューター(オペレーティングシステム)のメインボリューム・コントロールは最大値の25%に設定します。
- コンピューターのメインボリューム・コントロールを使用して、目的の音量に調整します。

音楽プレーヤーの音量を最大値に設定してコンピューターのメインボリューム・コントロールを使用すれば、DragonFlyに搭載された64ポジション・アナログ領域ボリューム・コントロールが、最高のレゾリューションと最大のサウンド品質を維持します。

DragonFlyは従来型のライン出力音源コンポーネント(CD、DVD、Blu-rayプレーヤーなど)として使用することもでき、レシーバーやプリアンプの標準入力に接続できます。こうした用途では、音楽プレーヤーのボリューム・コントロールとオペレーティングシステムのメインボリューム・コントロールの両方を最大値に設定します。この「最大出力モード」では、オーディオ・システムやAVシステムのボリューム・コントロールを使用することができます。

Windows 8とWindows RTに関して、USBオーディオに既知の問題はありますか。

あります。AudioQuestのDragonFlyを含む外付けUSBオーディオ・デバイス、一部のハードウェア・プラットフォーム上のMicrosoft Windows 8オペレーティングシステム、およびWindows RTを実行するタブレットには、偶発的および/または継続的なクリック音とドロップアウトを含む若干の既知の問題があります。マイクロソフト社はこれらの問題を認識しており、解決を図っています。新しい情報が入り次第、このページで随時お伝えします。

DragonFlyはWindows Vistaで動作しますか。

現時点では、DragonFlyはWindows Vistaには対応していません。マイクロソフト社は、オペレーティングシステムとオーディオ・デバイス間の非対応性問題を認識しており、解決を図っています。AudioQuestは、Windows XPを使用するか、Windows 7へのアップグレードを推奨します。

Windows 7でサンプル・レートに88.2kHzを選ぶことができないのはなぜですか。

マイクロソフト社はWindows 7オペレーティングシステムに関して88.2kHzのネイティブ・サポートを提供していません。複数のハードウェアメーカーがマイクロソフト社にサンプル・レート88.2kHzへの対応を求めましたが、更新を保証するためのサンプル・レートに対する十分な

消費者ニーズが存在しないというのがマイクロソフト社の所見です。幸い、JRiver Media Center と Foobar2000 などのアフターマーケット・プログラムは Windows の「ハードウェアとサウンド」アプリケーションを回避しており、88.2kHz のネイティブ・デコーディングが可能となっています。詳細については www.jriver.com か www.foobar2000.org をご覧ください。

デジタル・オーディオ・コンバーター (DAC) とは何ですか。

コンピューターで音楽を聴いたり、映画や YouTube を見ている時はいつでも、デジタル・オーディオ・データは必ず 1 と 0 から構成されています。デジタル・オーディオ・コンバーター(デジタル・アナログ・コンバーターとも呼ばれます)は、この 1 と 0 をアナログ波形に変換するデバイスです。この波形をヘッドフォンやホーム・ステレオが、私たちの耳に音楽として届けてくれます。コンピューターに内蔵されている、ヘッドフォン・ジャックに音を伝えるサウンド・カードは DAC の一例です。しかし、AudioQuest の DragonFly のような、専用のデジタル・オーディオ・コンバーターを使用すると、より高品質のサウンドを得られます。

DragonFly で、コンピューター内蔵のスピーカーの音が良くなりますか。

いいえ。DragonFly はコンピューターの内蔵スピーカーを使用しません。ヘッドフォン、卓上パワード・スピーカー、またはお持ちのオーディオ/ビデオ・システムなどの外部オーディオ・システムへの接続に特化して設計されています。

DragonFly で再生できるオーディオ・コンテンツの種類には何がありますか。

DragonFly は、コンピューターで再生したいどのようなオーディオにも対応しており、そのサウンドを劇的に改善します。iTunes®、YouTube®、Vimeo®や、Mog®、Spotify®、または Pandora® などのミュージック・ストリーミング・サービスのいずれでも音楽を楽しめます。聴きたい音楽が、DragonFly でより良いサウンドになります。

「非同期 USB」とは何ですか。

デジタル・オーディオはコンピューターに格納されてストリーミング再生され、1 と 0 の連続として DragonFly に配信されます。1 と 0 を美しい音楽にするのは、単にすべての音楽データを A 地点から B 地点に移動するのとは違います。微妙なデジタル・タイミングの関係を維持することが、会話や音楽として私たちに聞こえるアナログの波形への再構築を可能にするためには非常に重要なのです。「ジッタ」などのタイミングのエラーは、長い間デジタル・オーディオ再生における悩みの種でしたが、近頃では、コンピューターが音源コンポーネントとしての役割を担うようになるにつれて、この問題がかつてないほど大きくなっています。DragonFly では、非常に洗練された「非同期*」USB オーディオ・データ転送プロトコルを使用しています。非常に重要な部分であるオーディオの「データ・クロッキング」機能をコンピューターと共有するのではなく、非同期 USB 転送を使用して DragonFly が単独でこのオーディオ・データ転送を管理するこ

とにより、デジタル・タイミングのエラーが劇的に低減します。

「サンプル・レート」とは何ですか。

サンプル・レートとは、デジタル・オーディオ・ファイルが録音またはエンコードされる時に、取得されるサウンドの「スナップショット」数（1秒あたりサンプル数）を表す言葉です。CDは常に、44.1kHz、つまり1秒あたり44,100サンプルで再生されます。

ただし、レコーディング・スタジオでは、88.2kHzや96kHzといったもっと高いサンプル・レートでマスタリングしていることが多くあります。近頃では、こういったより高いサンプル・レートでのオンライン・ミュージックのダウンロードが、HDTracks.comをはじめさまざまところから開始されていますが、現在のところ選択肢は限られています。

DragonFlyは4種類のサンプル・レートでオーディオ・データを再生することができますが、どれを選んだら良いですか。

DragonFlyでは、44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHzで音楽やオーディオ・データを再生できます。ただし、最良の音質を得るには、コンピューターが、音楽の「元のレート」と同じレートで音楽データやオーディオ・データをDragonFlyに送信するよう、コンピューターを設定する必要があります。たとえば、iTunesで購入したCDと音楽ファイルはすべて、サンプル・レートが44.1kHzです。これが多くのデジタル・ミュージックの「元のレート」になるため、多くの場合、44.1kHzが最良のサンプル・レートとなります。より高いサンプル・レートを選択すると、元の音楽データやオーディオ・データは、数学的近似を使用して変換されます。これは、音質を低下させる可能性があります。逆に、HDtracks.comで販売されているような高レゾリューションの音楽ファイルを購入した場合、コンピューターを44.1kHz（あるいはもっと低いサンプル・レート）で設定すると、コンピューターで音楽がより低いレゾリューションにダウン・サンプリングされます。可能な場合は、コンピューターを常に、聴いている音楽の元のサンプル・レートで出力するよう設定してください。市場に流通する多くの音楽再生ソフトウェアでは、この処理を行えるようになっています。音楽再生ソフトウェアの詳細は、[こちら](#)をクリックしてご覧ください。

DragonFlyが違う色で光る時にはどのような意味がありますか。

上記にあるように、DragonFlyは、オーディオ・データが元のサンプル・レートで送信された時に最良の性能を発揮します。これが簡単に分かるよう、DragonFlyは、受信したオーディオ・データのサンプル・レート別に違う色で光ります。44.1kHzでは緑色、48kHzでは青色、88.2kHzでは琥珀色、96kHzでは赤紫色になります。

24ビット/176.4kHzや24ビット/192kHzの高レゾリューションの音楽ファイルを購入しました。これらのファイルを、DragonFlyで再生できますか。

96kHz よりも高いサンプル・レートのファイルを購入した場合、96kHz を超えないレゾリューションで DragonFly にオーディオ・データを送信するようコンピューターを設定する必要があります。この場合、最良のパフォーマンスを得るためには、再生しているファイルのサンプル・レートのちょうど半分のサンプル・レートを選択してください。たとえば、24 ビット/176.4kHz のファイルを購入した場合は、88.2kHz を選択します。24 ビット/192kHz ファイルを購入した場合は 96kHz を選択してください。直接割り切れるサンプル・レートの場合、音質的な低下が避けられ、変換における複雑な計算も用いずに DragonFly で最良のサウンドで再生できます。

DragonFly ではどのヘッドフォンが使えますか。

DragonFly には、現在市販されているどのヘッドフォンも、事実上駆動できるほどの万能性があります。DragonFly は、10 オームインピーダンスより上のヘッドフォンならどれも駆動できます。DragonFly は、使用できる最低限のヘッドフォンでも駆動できる出力です。

DragonFly は FCC 規制に準拠したデジタル装置ですか。

本装置は、試験の結果、FCC 規則パート 15 に準拠するクラス B デジタル装置の規制に適合していることが確認されています。この規制は住宅への設置において、有害な障害に対する適正な保護を提供するように設計されています。本装置は、無線周波数のエネルギーを発生、使用、放射する可能性があります。製造元のマニュアルに従わずに取り付けて使用した場合、無線通信に有害な干渉が起こる場合があります。ただし FCC 規制への準拠は、特定の設置において干渉が起きないことを保証するものではありません。本装置のスイッチをオンオフすることにより、本装置がラジオやテレビに受信障害を引き起こしていることが確認された場合は、次の方法をお試しになるようお勧めします。

受信アンテナの方向もしくは位置を変更する。

装置と受信機間の距離を長くする。

装置を受信機が接続されている回路とは異なる回路のコンセントに接続する。

業者もしくは実績豊富なラジオ/テレビの専門技術者に相談する。

メーカーが文書にて承認していない変更は、FCC 規則に従った装置の操作に対するユーザーの根拠を、無効とする場合があります。